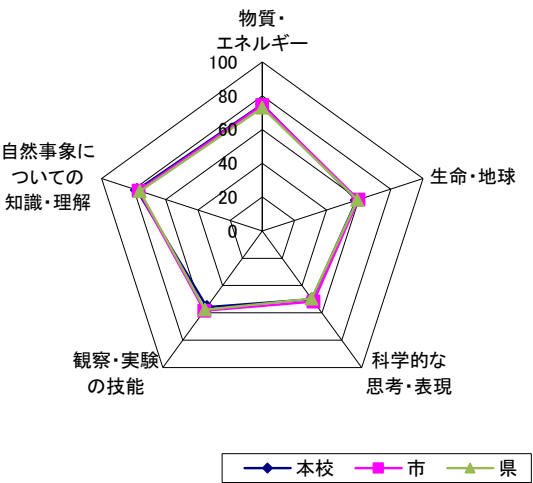


宇都宮市立横川西小学校 第4学年【理科】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	物質・エネルギー	74.9	74.5	72.9
	生命・地球	58.7	59.8	59.2
観点	科学的な思考・表現	50.0	51.6	49.7
	観察・実験の技能	55.8	58.4	57.7
	自然事象についての知識・理解	78.1	77.0	76.2



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の改善
物質・エネルギー	○「物は変わっても重さが変わらない」の問題の正答率は93.4%で、このことについてよく理解できている。 ○「風の強さによってものの動く様子が違うことがわかる」問題の正答率は94.7%と高く、市や県の平均を上回った。 ○電気の通りの問題では、導線のつなぎ方などの問題の正答率が高く、市や県の平均を大きく上回った。 ●風やゴムの働きの問題で、ゴムをのばす長さや車の動く距離の関係や、実験結果からゴムの伸びを推測する内容について課題が見られた。	・観察や実験では、その目的を理解させ、見通しを持って予想を立て観察や実験に取り組ませるようにする。そして、結果を図や文でまとめることなど自分の考えを表現する活動を積極的に取り入れ、思考力や表現力を育てていきたい。
生命・地球	○「チョウの幼虫と成虫の口の様子が違う理由」の問題の正答率は85.5%で、市や県の平均を大きく上回った。 ○太陽と地面の様子の内容の「かげの向きが太陽によって変わる」との問題に対する正答率は85.5%で、市・県の平均を上回った。 ●昆虫と植物の内容で、昆虫の育ち方を選ぶ問題や、観察記録をもとに理由を記述する問題に課題が見られた。 ●温度計のメモリを正しく読み取る問題の正答率が低く、課題が見られた。	・虫眼鏡や方位磁針、温度計などの道具の使い方について、体験を通してきちんと定着していけるようにする。 ・観察したことをノートや記録カードに、絵、図、文で記録していくことを引き続き指導していきたい。 ・昆虫や植物、太陽や地面の様子などは、日常生活の中で意図的に触れさせ、理解を深めるとともに、自然事象への興味関心を高めていきたい。 ・実験や観察を通して、用具の正しい使い方を身に付けさせたい。